

IBM X-Force Threat Intelligence

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。該当する注文関連文書には、お客様の発注に関する価格の詳細情報および追加の詳細情報が記載されています。

1. クラウド・サービス

IBM X-Force Threat Intelligence は、JavaScript Object Notation (JSON) 形式の情報を戻す RESTful API を通じて、IBM X-Force Exchange へのプログラマチック・アクセスを提供します。「クラウド・サービス」は、Structured Threat Information eXpression (STIX) 標準および Trusted Automated eXchange of Indicator Information (TAXII) 標準もサポートします。「クラウド・サービス」は、ユーザーを支援する以下の主な機能を提供するよう設計されています。

- 非構造化コンテンツおよび構造化コンテンツの両方で構成される、「コレクション」として知られる固有のセキュリティー調査に関する情報にアクセスする。
- インシデント・タイプ (マルウェア、データ侵害、または脆弱性など) の説明、およびそのインシデントに関連する、関係性のある観察可能なものに関する説明にアクセスする。
- ほとんどの場合にさらなる調査の開始点、および当該指標を理解するための背景となる、脅威の指標にわたって最新の総合的なインテリジェンスを入手する。
- お客様のオフリングと「データ」(以下に定義) を統合して、脅威に関するインテリジェンス情報を活用する。

1.1 オフリング

お客様は、利用可能な以下のオフリングから選択することができます。

1.1.1 IBM X-Force Exchange Commercial API

IBM X-Force Exchange Commercial Application Programming Interface (API) によりユーザーは、IBM のクラウド・ベースの脅威インテリジェンス共有プラットフォームである IBM X-Force Exchange の脅威インテリジェンスの利用を自動化することができます。本オフリングは、「1 万アイテム」単位で販売されています。

1.1.2 IBM X-Force Exchange Commercial API Enterprise

IBM X-Force Exchange Commercial Application Programming Interface (API) Enterprise によりユーザーは、IBM のクラウド・ベースの脅威インテリジェンス共有プラットフォームである IBM X-Force Exchange の脅威インテリジェンスの利用を自動化することができます。本オフリングは「インスタンス」単位で販売されています。1 つの「インスタンス」は、カテゴリー・フィードごとの IP および URL、IP および URL のレポート、脆弱性フィードに加えてすべての TAXII フィードに対する無制限のアクセスを提供します。X-Force Exchange で見つからない指標の要求は、1 か月あたり 10 万の「アイテム」に限られます。

1.1.3 IBM Advanced Threat Protection Feed by X-Force

IBM Advanced Threat Protection Feed by X-Force は、セキュリティー・ツールおよびセキュリティー・ソリューションへ直接取り込むために定義された実行可能な指標セットをユーザーに提供します。このフィードにより、暗号漏えいに関する実行可能な指標 (IP 用および URL 用重要)、暗号漏えいに関してアナリストが導き出した指標、および IBM の「DNS 早期警告」指標へのアクセスが可能になります。フィードは、STIX/TAXII、JSON、Text List および CSV の各形式を含め、複数の形式で利用可能です。

1.1.4 Threat Intelligence Insights Standard for IBM Cloud Pak for Security

この「クラウド・サービス」は無償で提供され、お客様は Cloud Pak for Security 上の Threat Intelligence Insights アプリケーション内で重要な脅威インテリジェンスを取り込んだり、各種機能を有効化したりすることができます。お客様は、このパッケージを使用して、X-Force の「アドバイザー」、「脅威」、および関連する IOC (IP、URL、「脆弱性」、「ハッシュ」) を含む、X-Force Threat Intelligence のコンテ

ンツの無償層にアクセスできます。さらに、お客様は手動で Am-I-Affected 機能を実行し、ご利用の環境内で悪意のある脅威を検索して特定することができます。IBM Cloud Pak for Security の一部として提供される IBM Security Threat Intelligence Insights アプリケーションは、この「クラウド・サービス」の前提条件になります。

1.1.5 Threat Intelligence Insights Advanced for IBM Cloud Pak for Security

Threat Intelligence Insights Advanced for IBM Cloud Pak for Security は、Cloud Pak for Security 上の Threat Intelligence Insights アプリケーションに、X-Force の次世代の脅威インテリジェンスおよび機能を追加できるプレミアム・パッケージです。IBM の Incident Response and Analysis (IRIS) チームが取りまとめた高度な脅威インテリジェンスのコンテンツには、「マルウェア」、「脅威グループ」、「脅威アクティビティ」および「業界」に関する詳細な分析レポートへのアクセス、是正に関する推奨、IOC (Indicators of Compromise) などが含まれます。この Advanced パッケージを利用すると、Am-I-Affected 機能を継続的かつ自動的に実行することができ、ご利用の環境内の関連する脅威を事前に特定して優先順位を付けることができます。IBM Cloud Pak for Security の一部として提供される IBM Security Threat Intelligence Insights アプリケーションは、この「クラウド・サービス」の前提条件になります。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」)のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」)にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。DPA は、i) EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR)、または ii) <http://ibm.com/dpa/dpl> に記載されているその他のデータ保護法が適用される場合に、その適用範囲に限り、「コンテンツ」に含まれる個人データに適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=1ECC13601F5911E69AAAC4D0C72C126B>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html)に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート(サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど)を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>)の「クラウド・サービス」を選択します。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「個別契約書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。
- 「アイテム」とは、「クラウド・サービス」の利用により管理、処理される、または「クラウド・サービス」の利用に関連する特定のアイテムが1回発生することをいいます。本サービスにおいて、「アイテム」は、1回の問い合わせで返された結果のそれぞれに該当します。
- 「管理対象仮想サーバー (MVS)」は、「クラウド・サービス」で管理される、要求されたプロシージャ、コマンド、またはアプリケーションを実行する処理装置、メモリー、入出力機能で構成されます。

5. 追加条件

2019年1月1日よりも前に締結されるクラウド・サービス契約書(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs>に掲載されている条件を適用します。

5.1 確認

お客様は、i) IBM およびその独立監査人がお客様の本契約の遵守状況を確認するために合理的に必要な記録、システム・ツールの出力を保管し、要求に応じて提供するものとします。また、ii) かかる確認の結果必要と判断された使用許諾を、IBM のその時点における最新の料金ですみやかに注文して支払うほか、その他の料金および債務を、IBM の請求書の記載に従い支払うものとします。これらの遵守状況の確認義務は、該当する「クラウド・サービス」の有効期間中および期間後の2年間有効に存続します。

5.2 データ

5.2.1 定義

「クラウド・サービス」には、「IBM データ」および「コミュニティー・データ」の使用ならびに各データへのアクセスが含まれます。IBM は、「クラウド・サービス」を介して、いかなる保証もしなく「データ」および第三者のすべてのコンテンツを提供し、お客様が「データ」または第三者のコンテンツにアクセスし、またはそれらを使用したことにより被った損失について責任を負いません。以下の定義が適用されます。

- データ** – 「クラウド・サービス」を介してアクセス可能なあらゆる情報、コンテンツ、ファイル、テキスト、グラフィックス、ソフトウェア、コード、メッセージ、検索照会からの出力、検索照会への入力、ディスカッション・フォーラム・コンテンツ、手法またはその他の素材を意味します。
- IBM データ** – 「クラウド・サービス」により IBM からお客様に提供された「データ」をいいます。ただし、「コミュニティー・データ」は除きます。IBM、そのライセンサーまたはサプライヤーは、「IBM データ」のすべての権利、権原、および権益を保持します。
- コミュニティー・データ** – 他の「クラウド・サービス」ユーザーから「クラウド・サービス」を介してお客様に提供された「データ」を意味します。

5.2.2 IBM データ

IBM はお客様に、以下のいずれかの場合にのみ、「クラウド・サービス」を通じて「IBM データ」にアクセスし、それらを使用する非独占的かつ譲渡不能な制限付きライセンスを付与します。(i) お客様の調査および脅威調査をサポートするためのお客様による個人使用、または(ii) 「IBM データ」のお客様のオフリングへの統合を目的とする場合。お客様は「IBM データ」または「クラウド・サービス」の大部分またはコンテンツ全体を複製することはできません。お客様は、「IBM データ」に含まれる、または「IBM データ」に添付されるすべての著作権表示、情報、および制限に従うものとし、「IBM データ」に含まれるテキスト、著作権、またはその他の財産権表示を削除しないものとします。お客様は、「クラウド・サービス」に関連するアクセス制限を回避することはできません。

お客様が「IBM データ」をお客様のオフリングに取り込む場合、お客様は、エンド・ユーザー契約に以下のとおり定めるものとします。(a) 直接損害に対するお客様とお客様の第三者サプライヤーの連帯責任を合理的な金額に制限し、派生的損害およびその他の間接損害ならびに第三者サプライヤーに関する黙示の保証に対するあらゆる責任を否認し、(b) お客様のエンド・ユーザーに対して、エンド・ユーザー契約に起因する請求はお客様のみに対して提起するように要求し、(c) お客様の製品またはサービスと切り離れた「データ」の使用を禁止し、および(d) 「データ」の再使用許諾またはその他の方法によるさらなる配布を禁止します。

さらに、お客様が「IBM データ」をお客様のオフリングに取り込んだ場合、お客様が適用法または「本契約」の条件に基づいて負うべき責任に加えて、お客様は以下に起因するすべての第三者の請求に対して、および当該請求に関して、IBM を防御し、補償し、免責します。(a) 前段落の条件の不遵守、または(b) IBM が承認していない「IBM データ」に関する表明、記述、請求または保証。

上記に明示的に規定されている場合を除き、お客様は「IBM データ」のコピー、変更、複製、送信、販売、販売のための提供、貸与、リース、ライセンス付与、再使用許諾、再配布、またはその他の方法による第三者への提供を行わないものとします。

5.2.3 コミュニティー・データ

お客様は、「コミュニティー・データ」へのアクセスを含め、「クラウド・サービス」の他のユーザーとお客様とのやりとりに対して責任を負います。特定の「コミュニティー・データ」は、「コレクション」または「脅威」で共有される場合があります。一般に入手可能な「コミュニティー・データ」に関して、かかるコンテンツの所有者は、「クラウド・サービス」ユーザーに、かかる「コミュニティー・データ」またはその一部を使用、複写、複製、変更、二次的著作物作成および頒布のための非独占的な全世界にわたる支払い済みの権利およびライセンス(以下「パブリック・ライセンス」といいます。)を許諾するものとします。お客様が「パブリック・ライセンス」に従って「コミュニティー・データ」を複写、複製、頒布またはその他の方法で利用可能にする場合、お客様は「コミュニティー・データ」についての帰属表示を行うものとします。お客様は、お客様の内部の非営利目的でのみ、「コレクション」または「脅威」において利用可能な「データ」を使用できます。お客様は、IBM のポリシー、本「サービス記述書」に違反する、またはそれ以外の違反的なものに該当する「コミュニティー・データ」にさらされる場合があります。

「コミュニティー・データ」には、その他の「クラウド・サービス」ユーザーのユーザー・プロフィール情報が含まれる場合があります。お客様は、他の「クラウド・サービス」ユーザーに脅威に関するインテリジェンス情報を伝達する以外の目的でプロフィール情報のデータ・マイニング、コピーまたはそれ以外の方法での使用をすることはできません。

「コミュニティー・データ」には、IBM が運用していない Web サイトへのリンクが含まれる場合があります。IBM は当該 Web サイトのコンテンツ、製品、素材、または実践(プライバシーの実践を含みます。)に対して責任を負いません。お客様は、「コミュニティー・データ」へアクセスすることにより、お客様が違反に該当する Web サイト、わいせつな Web サイト、またはその他好ましくない Web サイトと感じる第三者の Web サイトにさらされる場合があることを理解します。

不適切な個人情報または削除すべき個人情報が「データ」に含まれているとお客様が判断する場合、お客様は X-Force IP Report の「寄与」フィーチャーを使用して IBM に問い合わせることができます。

6. オーバーライド条件

6.1 復処理者としての Cloudflare, Inc.

以下の条件は、いかなる矛盾する規定があった場合でも、両当事者間の「クラウド・サービス」の「データのセキュリティーおよびプライバシーの原則」に優先します。本「クラウド・サービス」は「コンテンツ」の「復処理者」の一事業者として Cloudflare, Inc. を使用します。Cloudflare は、「クラウド・サービス」の提供を最適化するために、暗号化されない形式の「コンテンツ」を処理します。Cloudflare は、PCI 準拠の「レベル 1 サービス・プロバイダー」であり、ISO 27001 および SOC 2 の認証を取得するべく取り組んでいます。(明確にするために付言すると、「クラウド・サービス」全体は PCI 準拠ではありません)。